

退職した深草さん⑤に記念ボールを  
手渡す山本将平主将



はばだけ！  
JTサンダーズ広島

竹田 英司

5月に大阪で開催予定だった全日本男女選抜大会が新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止となり、不完全燃焼のまま今シーズンの公式戦が終わってしまった。チーム一同も悔しいが、観戦を楽しみにされていたファンの皆さまに申し訳なく思う。

東京で今月開催予定だった日本代表のテストマッチも中止となった。日本代表の小野寺太志、オーストラリア代表



## 苦しい時こそ感動を

のエドガー、中国代表でJTに在籍していた劉力賓の各選手が一堂に会する可能性があっただけに、ファンならずとも残念だろう。

劉選手といえば、バス車内での惜別の言葉が懐かしく思い出される。そして、別れの言葉といえば先日退職された、JT中国支社長深草清さんの最後のあいさつである。

深草支社長は試合でチームが最高の力を発揮できるよう、各方面を奔走し、われわれにとっては父親のような存在だ。その支社長の言葉で心に残った一言がある。ある市長から掛けられたという「ホームゲームの際にはJTサンダーズ広島ではなく、わが地域の名前に変更してほしい」。多少の社交辞令もあったのだろうが、それを差し引いてもチームスタッフとしてうれしい一言だ。

世の中が苦しい時こそ「JTサンダーズ広島の試合で勇氣と感動をもらいたい」と言っていただけのチームでありたい。

(JT広島マネジャー)